

綾部市立病院で肺がんに対する手術を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

肺がん手術患者の HALP スコアと術後予後に関する調査へのご協力のお願い

今回、綾部市立病院で肺がんに対する手術を行った患者の、HALP スコアと術後再発、生存期間に関する単施設研究「HALP スコアと肺がん術後の予後に関する後ろ向き研究」を実施致します。そのため、過去に綾部市立病院で肺がんに対する手術を受けられた患者様の診療録を過去に遡って調査させていただきたいと考えています。

実施にあたり綾部市立病院倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

本研究は、肺がん手術を受けられた方の手術前採血で測定した値を用いて HALP スコアを算出し、HALP スコアと肺がん術後の再発と生存期間の関連を明らかにすることを目的としています。

HALP スコアとは、ヘモグロビン(g/L)×アルブミン(g/L)×リンパ球数(/L) / 血小板数(/L)で算出される、全身の免疫や栄養状態を反映する指標のひとつです。「ヘモグロビン」が低値であることは貧血であることを示しており、生存率の低下や腫瘍の進展との関連性が報告されています。「アルブミン」は栄養状態を反映する指標であり、低値であることは栄養不良を反映し、同様に腫瘍の進展との関連が報告されています。「リンパ球数」「血小板数」は全身の炎症や腫瘍に対抗する免疫状態を反映し、これらも予後との関連性が報告されています。生存率やがんの進展と関連の深いこれらの値を用いて算出される HALP スコアは、より総合的に全身の免疫・栄養状態を反映すると考えられ、胃がん、食道がんなど複数の癌で予後を予測する指標として注目されています。しかし、肺がんとの関連についての報告は限られており、特に国内のデータはほとんど報告されていません。

本研究では肺がん患者様の術前あるいは術後の HALP スコアの数値やその変動を調べ、再発や生存期間との関連を調査します。

研究の方法

・対象となる方について

2018年12月1日から2023年12月31日までの間に、綾部市立病院で肺がん手術を行った患者様が対象です。

研究期間：倫理審査委員会承認後から2028年3月31日

・方法

本研究は日常診療の記録を用いる研究ですので、参加者となる皆様に新たな検査負担や危険が及ぶことはありません。記録から得られたさまざまな臨床・病理学的な所見と手術後の腫瘍再発や生存期間との関連について調べます。

・研究に用いる情報について

情報：病歴、検査歴、手術歴、術後合併症等の発生状況、病理所見、術後経過 等

・利用または提供を開始する予定日

利用開始日：2026年1月1日

・個人情報の取扱について

手術時に情報はすべて匿名化され、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないように情報を加工されるため、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し、結果を発表したあとは、綾部市立病院において、研究終了報告日から5年または研究結果の最終公表日から3年または論文等の発表から10年のいずれか遅い日までの間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際には、前述の保管期間を超えて保管し、貴重な情報として利用させていただきたいと思います。新たな研究を行う際には改めてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

・研究組織

研究責任者： 綾部市立病院呼吸器外科 部長 井伊庸弘

研究担当者： 綾部市立病院呼吸器外科 西井真知子

綾部市立病院呼吸器外科 川西凜太郎

お問合せ先

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料入手または閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年12月31日までに下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはあり

ません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

綾部市立病院呼吸器外科

職・氏名 副院長、部長・井伊庸弘 電話：0773-43-0123

受付時間 月曜～金曜 9：00～16：00